

2012年7月25日

弊社 B747-8F 型機の初号機到着について

このたび、日本貨物航空株式会社(NCA、本社:千葉県成田市、社長:大槻 哲史)は、ボーイング社の最新鋭機 B747-8F 型機の初号機(登録記号 JA13KZ)を、7月25日(水)に米国シアトルのボーイング社エバレット工場にて受領致します。その後、現地にて受領検査を実施し7月27日(金)に成田空港に向けて飛び立ち、翌7月28日(土)日本時間午前9時25分に成田空港に到着致します。到着時には成田国際空港株式会社 様のご協力により消防車の放水によるアーチが予定されております。

成田までの空輸では、環境にやさしいバイオ燃料(通常のジェット燃料に使用済み食用油を再生したバイオ燃料を15%混合)を使用した運航を行い、実用化にむけた技術的な検証を行います。弊社とCargolux社からの確定発注を受け、2005年11月14日にローンチしたB747-8F型機は、弊社を含めた各航空会社との「Working Together」による開発が進められ、B787ドリームライナーで開発された新たなテクノロジーが多く採用されています。B747-400F型機に比べ胴体を延長して貨物の収容力を増大させ、主翼は空力特性に優れた最新の設計がなされており、エンジンはB747-8型機向けに最適化がなされ、高い燃料効率や静音性等の実現により、環境・運航性能の向上に大きく貢献するゼネラル・エレクトリック社(以下GE)製のGENx-2Bを装備します。これらの最新技術によって、燃費、騒音ならびに排出ガスの低減をはかった最新鋭機となっております。

尚、B747-8F型機の初商業便は8月中旬頃を予定しており、アジア、北米線を中心に運航して参ります。

今後は、B747-8F型機の高い燃料効率と優れた環境性能を最大限に活用し、定期便のみならず世界各地へチャーターサービスを展開して参りますので、今後とも益々のご利用を賜りますようお願い申し上げます。



写真 左:B747-8F 型機 右:GENx-2B

お問い合わせ先:経営企画部 Tel :0476-30-3946

以上